

- 問1 世界遺産に登録されたある村において、登録翌年の観光客数は101.9万人でしたが、周辺の道路整備を行った15年後には173.1万人にまで増加しました。このような道路整備などのインフラ整備が観光振興にもたらす利点として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 道路の幅を狭めることで車両の通行を困難にし、徒歩による観光を促して滞在時間を延ばす。 | 2. 観光地の周辺に巨大な商業施設を建設することを優先し、伝統的な文化よりも経済効率を重視する。 | 3. 交通アクセスを向上させることで観光客数を増加させ、より多くの人に遺産の価値を伝えることが可能になる。 | 4. 観光客の流入を制限し、歴史的な景観を維持することで、管理運営にかかる財政負担を軽減する。 |
|---|--|---|---|
- 問2 日本の特殊な地形や自然環境に合わせた土地利用の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. リアス海岸は長い砂浜が続く海岸線であるため、その広大な砂地を利用してジャガイモや根菜類の栽培が大規模に行われている。 | 2. カルスト地形は火山灰が厚く堆積してできた地形であるため、水分を保持しやすく、主に稲作を中心とした農業が行われている。 | 3. 北海道では寒冷な気候による被害を防ぐため、スプリンクラーによる散水で気温を上げ、主に米の二期作が行われている。 | 4. 石灰岩が雨水などで浸食されてできたカルスト地形は、水はけが良いという特徴を活かして果樹園などに利用されることがある。 |
|---|---|--|---|
- 問3 2010年代の日本の輸入構造において、中国からの電気機器の輸入額が、かつて最大だったアメリカ合衆国を大きく上回るようになった背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 日本国内の電気機器メーカーがすべて閉鎖し、日本国内での生産が完全に行われなくなったため。 | 2. アメリカ合衆国が日本への製品輸出を制限し、中国がその代替供給元として選ばれたため。 | 3. 中国が自由貿易協定によって日本からの電気機器の輸入を全面的に禁止したため。 | 4. 日本企業が生産コストを抑えるために中国に工場を建設し、現地で生産した製品を輸入するようになったため。 |
|---|--|--|---|
- 問4 グローバル化に伴う物流の変化において、航空輸送が主に担っている役割と、その輸送に最も適した品目の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|--|--|
| 1. 「小型・軽量で高付加価値」という特徴を持つ集積回路 (IC) を運ぶ役割 | 2. 「液体で一度に大量の輸送が必要」という特徴を持つ原油を運ぶ役割 | 3. 「重量が大きく、製品単価が比較的安い」という特徴を持つ鉄鉱石を運ぶ役割 | 4. 「形状が大きく、専用の運搬船で大量に運ぶ」という特徴を持つ自動車を運ぶ役割 |
|---|------------------------------------|--|--|
- 問5 2010年代半ば、佐賀県などの地方自治体においても外国人住民数が増加傾向にあり、特に2014年の約4300人から2015年には4500人を超えるなど、増加のペースが速まりました。このように、異なる国籍や文化背景を持つ人々が、地域社会の一員として共に生きていくための考え方を何といいますか。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|------------|-----------|
| 1. 持続可能な開発 | 2. 多文化共生 | 3. 排他的経済水域 | 4. 社会保障制度 |
|------------|----------|------------|-----------|
- 問6 1人を1キロメートル輸送する際に排出される二酸化炭素 (CO2) の量を比較した統計によると、自家用乗用車が150g以上であるのに対し、バスは50gを下回っています。このように、自家用車からバスなどの公共交通機関への利用の転換を促すことが、地球温暖化対策として有効とされる理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. バスなどの大型車両は、自家用車1台と比べた場合の二酸化炭素排出量そのものが少ないため、環境への負荷が小さいから。 | 2. 公共交通機関を利用することで、目的地までの移動距離そのものが短縮され、燃料消費を大幅に抑えられるから。 | 3. 公共交通機関は、1人あたりの二酸化炭素排出量が自家用車に比べて少ないため、社会全体の排出抑制につながるから。 | 4. 公共交通機関への転換は、都市部の交通渋滞を完全に解消することで、二酸化炭素の排出をゼロにできるから。 |
|---|--|---|---|
- 問7 北海道が収穫量1位であり、長崎県が上位に含まれる農産物の生産状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 北海道では水田の裏作として栽培されており、長崎県では抑制栽培によって出荷時期を遅らせている。 | 2. 北海道では大型機械を用いた大規模な畑作が行われ、長崎県では温暖な気候を活かした栽培が行われている。 | 3. 北海道では近郊農業として都市部への出荷が中心であり、長崎県では促成栽培が主力となっている。 | 4. 北海道ではシラス台地を利用した畑作が行われ、長崎県では棚田を利用した米作りが盛んである。 |
|---|--|--|---|
- 問8 中京工業地帯の製造品出荷額が、京浜工業地帯や阪神工業地帯を抑えて日本最大である理由として、この地域の産業構造の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 岐阜県から愛知県にかけての繊維工業が、伝統的な技術を活かして世界一の高級衣料品ブランドへと成長したため。 | 2. 名古屋市を中心に印刷業や出版業が発達し、情報化社会に対応した付加価値の高い製品を多く出荷しているため。 | 3. 四日市市などの石油化学コンビナートにおいて、日本で消費されるガソリンやプラスチック原料のほとんどを生産しているため。 | 4. 愛知県周辺に自動車とその膨大な関連部品を製造する工場が密集し、効率的な生産・供給ネットワークが築かれているため。 |
|---|--|---|---|
- 問9 日本の製造業における大企業と中小企業の比率を示した統計において、中小企業（従業者299人以下）が全体の約99%を占め、大企業（従業者300人以上）がわずかに1%程度にとどまっている項目はどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 従業者数 | 2. 事業所数 | 3. 輸出総額 | 4. 工業製品出荷額 |
|---------|---------|---------|------------|
- 問10 近年、日本の物流において、効率的な貨物輸送を行うために輸送手段の組み合わせを見直し、鉄道や船の利用を増やす動きが進んでいます。このようにモーダルシフトが進められている背景の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. トラックドライバーの不足に対応するとともに、自動車から排出される二酸化炭素を削減して環境負荷を軽減するため。 | 2. 鉄道や船による輸送は、自動車による輸送に比べて戸口から戸口へのきめ細かな配送が容易になるため。 | 3. トラックの排気ガス規制が強まり、自動車による貨物輸送が法律で全面的に禁止されることになったため。 | 4. すべての貨物輸送を長距離フェリーに置き換えることで、輸送にかかる燃料費を完全にゼロにするため。 |
|---|--|---|--|
- 問11 日本の水道普及率は1950年の25.2%から1970年代にかけて急激に上昇しました。この普及率の急上昇が起こった時期の日本の経済状況を示す名称として、最も適切なものを一つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|
| 1. 殖産興業期 | 2. 高度経済成長期 | 3. バブル経済期 | 4. 安定成長期 |
|----------|------------|-----------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 交通アクセスを向上させることで観光客数を増加させ、より多くの人に遺産の価値を伝えることが可能になる。	世界遺産登録後に道路などの基盤整備を行うことは、観光客の利便性を高め、訪問者数の増加に直結します。観光客が増えることは、地域経済の活性化だけでなく、人類共通の財産である遺産の価値をより広く普及させるという教育的・文化的な意義も持ちます。
問2	答え 4 石灰岩が雨水などで浸食されてできたカルスト地形は、水はけが良いという特徴を活かして果樹園などに利用されることがある。	カルスト地形は、石灰岩が二酸化炭素を含む雨水や地下水によって溶食されてできた地形で、地下に水が抜けやすい（排水が良い）という性質があります。そのため水田には向きませんが、その特性を活かして果樹園や牧場として利用されることがあります。リアス海岸は複雑に入り組んだ湾を持つ海岸であり、長い砂浜が続く海岸とは特徴が異なります。また、北海道ではその寒冷な気候から二期作は行われていません。
問3	答え 4 日本企業が生産コストを抑えるために中国に工場を建設し、現地で生産した製品を輸入するようになったため。	1990年代以降、グローバル化の進展に伴い、日本の多くの電機メーカーが人件費の安い中国に生産拠点を移しました。このように、日本企業が海外に進出して生産した製品を日本に逆輸入する形態が増えたことが、中国からの輸入急増の大きな要因です。これにより、日本の輸入相手国は欧米中心からアジア中心へと大きく変化しました。
問4	答え 1 「小型・軽量で高付加価値」という特徴を持つ集積回路（IC）を運ぶ役割	航空輸送は船便に比べて輸送単価が高いという特徴がありますが、移動速度が非常に速いため、鮮度が重視される食料品や、集積回路（IC）のように「小型・軽量で高付加価値（製品価格が高い）」な製品の輸送に適しています。一方で、原油や鉄鉱石などの重量のある資源や、自動車のような大型製品は、輸送コストを抑えるために一度に大量の運搬が可能な船舶が利用されるのが一般的です。
問5	答え 2 多文化共生	特定の地域において、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的背景を尊重し合いながら対等な関係を築き、共に生活していくことを多文化共生といいます。2014年から2015年にかけては、全国的にも外国人住民数が顕著に増加した時期であり、自治体レベルでのゴミ出しのルールの周知や日本語教育支援など、具体的な共生施策の重要性が高まりました。
問6	答え 3 公共交通機関は、1人あたりの二酸化炭素排出量が自家用車に比べて少ないため、社会全体の排出抑制につながるから。	地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量は、輸送手段によって大きく異なります。バスや鉄道などの公共交通機関は、一度に多くの人を運ぶことができるため、輸送距離あたりの「1人あたりの排出量」を計算すると、自家用乗用車よりも効率が良く、環境負荷を低く抑えることができます。移動距離そのものが短縮されるわけではなく、効率的な輸送によって総排出量を減らすことが目的です。
問7	答え 2 北海道では大型機械を用いた大規模な畑作が行われ、長崎県では温暖な気候を活かした栽培が行われている。	この農産物はじゃがいもを指します。北海道（特に十勝平野など）では、トラクターなどの大型機械を導入した大規模な経営が行われています。長崎県では、冬から春にかけての温暖な気候を利用し、北海道産が出回らない時期に収穫・出荷する工夫がなされています。シラス台地での畑作は主に鹿児島県のさつまいもに見られる特徴です。
問8	答え 4 愛知県周辺に自動車とその膨大な関連部品を製造する工場が密集し、効率的な生産・供給ネットワークが築かれているため。	中京工業地帯の強みは、完成車メーカーだけでなく、数万点に及び部品を供給する中小の関連工場が同じ地域内に集積していることにあります。この密接な協力体制（集積）により、生産効率が極めて高くなっています。また、内陸部まで高速道路網が整備され、名古屋港という輸出の門戸があることも、このネットワークを支える要因です。
問9	答え 2 事業所数	日本の中小企業は、製造業全体の事業所数のうち99%以上を占めており、数の上では圧倒的な多数派である。これに対し、従業者数は約70%、工業製品出荷額は約50%程度と、項目によって中小企業が占める割合は異なるため区別が必要である。
問10	答え 1 トラックドライバーの不足に対応するとともに、自動車から排出される二酸化炭素を削減して環境負荷を軽減するため。	自動車による貨物輸送は小回りが利く一方で、トラックドライバー不足や二酸化炭素の排出といった問題を抱えています。そのため、輸送手段の組み合わせを再検討し、一度に大量の荷物を運べる鉄道や船へと転換するモーダルシフトが進められています。
問11	答え 2 高度経済成長期	日本の水道普及率は、1950年代から1970年代にかけての高度経済成長期に急激に上昇しました。都市化や生活環境の整備にともない、重要インフラである水道の普及が急速に進みました。